

総
集
編

トカ
ラケ
ヅ
スキ
S





総集編

カケヅキトランスS

カケヅキトランス
：頁4

カケヅキトランス2
：頁30

カケヅキトランス3
：頁50

カケヅキトランス4
：頁70



カ
ラ
ツ
キ
ト
ラ
ス
♡



カ
ラ
ッ
キ
ス
ハ
ッ
ス









きゅん
初物かよ

やっべ
あゝもう
イクわう♡

IP999...



ふ...
出したわ

ありがとよ
滅茶苦茶
良かったぜ

理由は訊か
ないからな

おは...

第三工廠

ゴム——
きちゃんとつけて
くださいね

あと今日のは
時間が無いので
手短かに

わかった

私は——どうか
しまっている

最初で最後だった
はずの夜から——

私たちは現在まで
まぐあい続けていた

はあ——
きもち——

本当これ
飽きないわ

あの日から変わらず
乱暴な腰使い——

膣内に精子を
吐き出すだけの
愛のないセックス

それも次第に
慣れてきて
しまっている

ううん、
ナカで
跳ねてる



あ
ん

ん
あ

ん
あ

声
で
け
え
し
……
バ
レ
る
ぞ
う

あ
ん
た
最
近

色
っ
ぽ
い
声
出
す
よ
う
に
な
っ
た
な

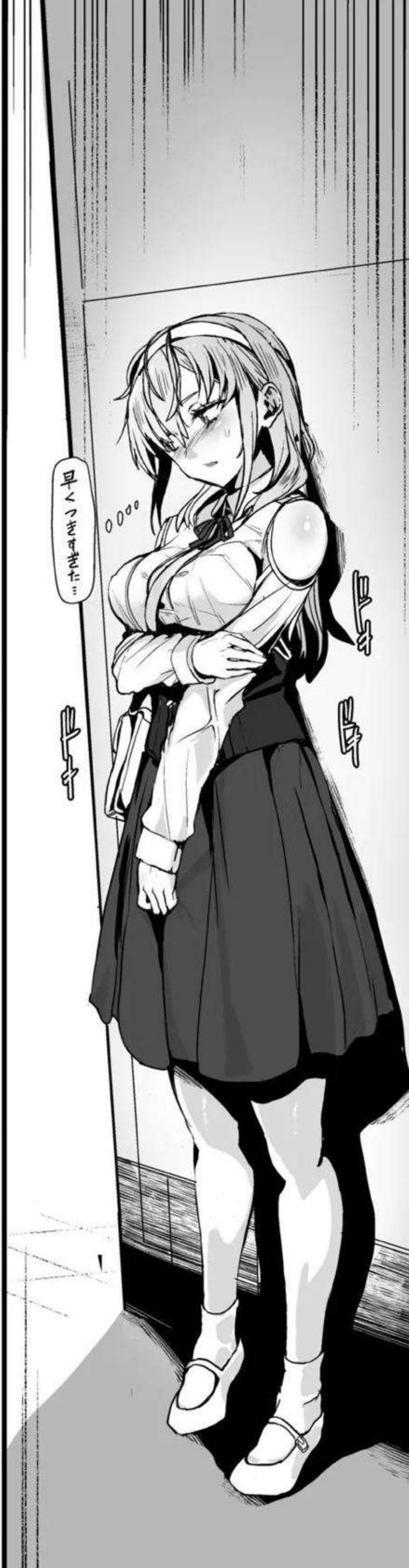
……
気
の
せ
い
で
す

と
こ
ろ
で
涼
月
さ
ん
よ

は
い

今
度

二
人
で
出
か
け
な
い
か



HOTEL CRIME

HOTEL
CRIME

INFORMATION

B1

T E L 0000-00000000

休憩
REST

90分 2,200

120分 2,900

180分 4,600

宿泊
LODGING

21:00~翌12:00

平日 5,500

土・祝日前 7,000

サービスタイム
SERVICE TIME

朝6:00~20:00

5,000

各延長 30分500



部屋
どこがいい？

え……そんな
わからない
……です

じゃあ
適当で

はい……
去年夏に
着た水着です

裸は恥ずか
しいから……

ドスケベな
水着だなあ
交尾準備
万端ってか

ふいふい
さっぱりした
おっ？

涼月さん
それ自前のか？

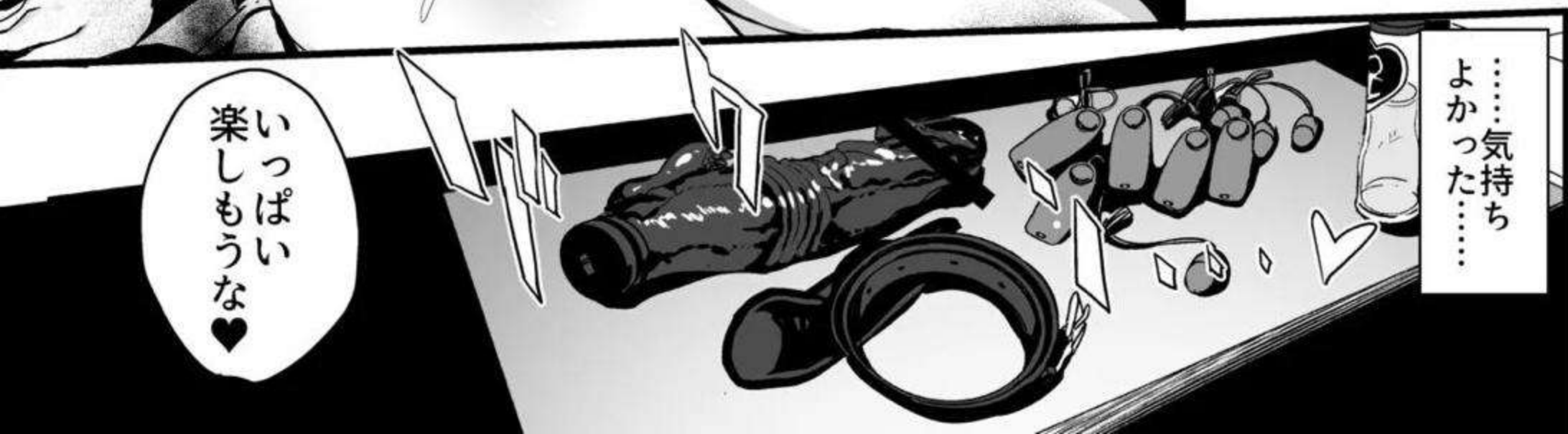
は
ひやっ

凶器みたいなの
舐しやがつて
覚悟しろ――

全身しゃぶり
尽くしてやる

ちがっ

違わないだろ
ここまでついてきてよ



いっぱい
楽しもうな♡

……気持ち
よかった……



あーもう
イキそうだった

すぽ

すぽ

イクゾツ
口締めろ♡

イクツ!!



は最高だ
よ

さて
次は

704

704

704

704

704





そろそろ
ほぐれきたか？

奥底まで
ズツポリ
ハメてやる

あつやだ
ごむつけてっ
まっ—
まってください

ほぐした甲斐が
あったなあ
最高の具合だぞ♡

あーあ
あーあ
あーあ









すげっ……
膣内うねって
めっちゃ絞られる
さすが生だわ

あんなに
かみ
かみ
かみ



うわっ
ヤベー
張り切り
過ぎたな

さて――



あゝまた
勃ってきた
このまま
もう一発



時間はある
続けるか
どうか

あんたが決めるよ
涼月

漫画用ラフ画 【仮】

当初は常時ダウンナー系で行くつもりでしたが、
いつの間にか目に光が宿っていました。
ですがやはり繊細で浮き沈み激しい娘だと思っています。



- ◆勝手なイメージ
- ・秋月型では一番背が高い
- ・髪が細く柔らかい
- ・特に脚が素晴らしい。
(ふともも太いいけどふくらはぎは細い)
- ・お尻を含め腰が大きい。
- ・バストは照月>涼月>秋月>初月で
アンダーが細く相対的に巨乳
- ・内股で手を胸の前で組む
(祈りのポーズ)が癖
- ・味覚音痴
- ・自己主張小さめ
- ・喘ぎ声は頑張って抑える派





トカ
トラ
♡
スキ
||



カ
ラ
ッ
ス
キ

||



整備班は武装解除へ

1番・2番ゲート
開放します

艦娘が戻ってきた!!

急げ急げ!!





一週間の長期休暇!!
しかも外出可能の♡
何しよ

明日から
休みだよ!!



広綺麗
快適!!!

V.I.P♡

わーい!

はしやぎすぎだ
姉さん……

別棟東館・艦娘宿舎
通称VIPルーム



私は
ちよっと予定が

え〜



行こうよ!
ザイゼ!

フラノ風ドリア
食べに行こーよっ

また
それかあ

まあいいけど

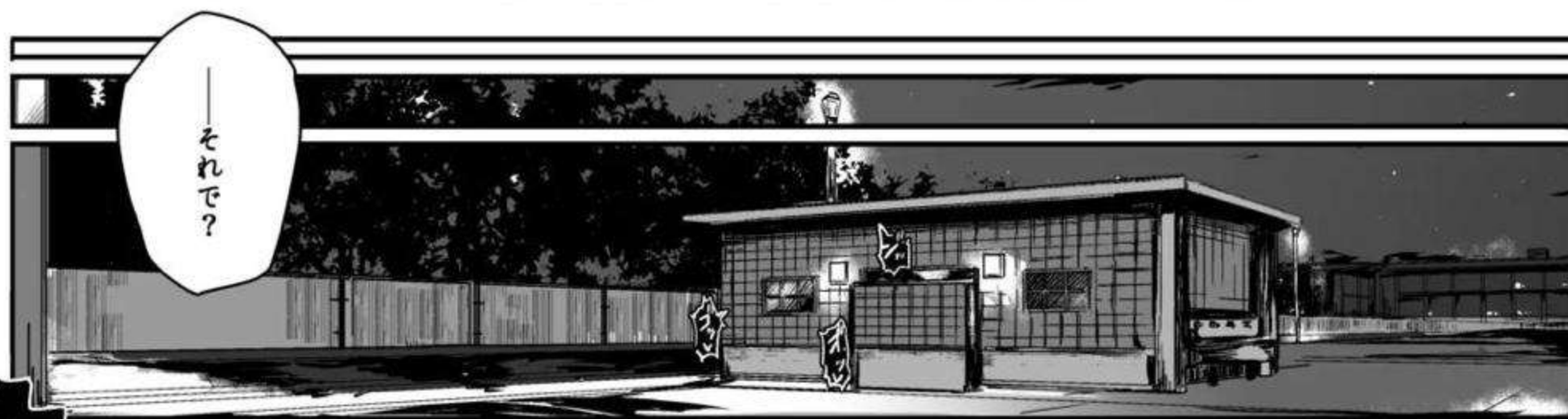
やった♡



涼月は?

ね

一緒
行かない?







相変わらず
エロい尻
しやがつて

穴も準備
万端だな

ぬちゅ
ぬちゅ



涼月の発情ま
っ……お……に
おマフコ……に

おチンポいれて
かきまわして
ほしい……
です………



めっ♡



思いっ切り
ぶち犯して
やるからなあ

はい……♡
滅茶苦茶に
壊してください♡

一気に奥までえ——♡

ずっとぽり啜え
こんだな？

——動くぞ

やっぱり
すっぴん……うっく

頭の奥まで
ガンガン響くっ

子宮全部
押しつぶされて

くるしっ……いっ
お腹……破れるっ





おっ
締まる
締まる

ケツぶっ叩かれて
感じてんのか？

どうせ任務中も
セックスのことばかり
考えてたんだろ？

はいっ
考えてましたっあ

毎日隠れて
オナってましたあ♡

やっぱりお前
変態マゾ女だな

そこまで
訊いてねえよ



まったく
どうしようもない
ドスケベ艦娘だない

もう引退して
セックスだけで
生きていけよ

だめっ
そんなことっ



説得力ねえなあ
散々善がつてよ

じゃあ股から
撒き散らしてる

これは—
なんで出てんだ？

おっ
おっ

めいっ♡

かきもぢっ♡
かられすっ♡









他の連中に見せたら
もれなく全員幻滅だな

おい涼月

お前が今
どんな姿を
してんのか

見せてやるよ



やだっ
丸見え!?

かがみ……?



えっ……私は
何をしたら
良い……ですか?

早く脱げろ

続きに
決まってるだろ



えー?



いままです玩具で散々遊んでいたよなあ？全部汚してやるよ

平気だろ

やっ！
そっちの穴はダメッ！！
ムリッ！！
そんなの壊れられないちやうつ！！

そこっ
違っ！

ケツ穴使うには
便所にお似合いだろ

鏡に映った
痴態く観ておけッ



眠そうだね？
やっぱり疲れ？



ううん……
それもあるし
ちよつと昨日
は寝不足で……



お涼さん
お腹——
調子は大丈夫か？

戻るのも随分
遅かったみたいだ

あ……うん

何回もイッて
たから……
朝になつて



でももう
大丈夫——

ひゃっ!!



どうした？
お涼さん

だっ

うしろが
どうなのか？

大丈夫だからッ!!

やっぱり
具合悪いんじゃ



あ
こや

あ
こや

大丈夫――

きつと
今回だつて

誤魔化せる
……よね？

……

……



カ
ラ
ー
キ
ス
♡

III



カ
ラ
ッ
ス
キ



夏季休暇を貰った

私は凝りもせず
海に居た

「護る」という
涼月本来のそんな
崇高なものでもない

ねえ
キミひとり？

おい
聞こえてるう？

おいっ

どしたん？
ぼーっとして

むしろ艦娘としての
誇りを捨てる低俗な……

そそ キミ以外
誰がいんのさw

えっ
わたし？
ですか？

おっ♡
すげえ美人

ヒマなら俺らと
遊びいかない？

ニヤ
ニヤ



なあ
いこうぜ



てかなに？
その食べ方
エロすぎでしょ

で
ヒマなん？



痴女？
誘ってるん？

俺の肉棒も
お口で
しゃぶって
ほしいなーw

おっぱいでっか
やわらかそ♡

ムキ
ムキ
ムキ

えーっ……その

あ！キミ
襲われたい
タイプっしょ！

溜まってるなら俺らが
解消してやるからよ

パコパコしようぜ♡



気が早えよw
引かれてるって！

お前のもアウトだろ！

わははははw





あつ 待って
待ってくださいっ



あッ♡

なに期待
してんだよ



あッ♡
物欲しそうな
顔しやがって

そんなこと
ないですう♡



なににも...
されない...?

あ あのっ

ホテル
戻りませんか?



スルル
クリ触られた
だけで...♡



輪姦される
妄想でもして
欲情か?

ンッ!!

やっぱり
発情してんな

腰ガクガク
じゃねえか

水着……あそここ
くい込んで……♡



まんこ虐めて
やると口も
締まる締まる

強度調節できて
こりやもう
口オナホだな

……あ？
感じてんのか
マゾ艦娘

発情本気汁
ダラッダラ
垂れてるぞ

あつだめ
そんな事
言われたら



全身性感帯
かよお前

嬉ションしてん
じゃねーよメス猫

トロけきった顔
たまんねえ……♡



口の中もすげえ
熱くなってきた

出すからな
喉で絞り上げろ



あゝ
射精るッ



イッ
ロひらけ
チンシャブ女





戻るぞ
休んだら
続けるだろ

いけないとわかっていた
だけどやめられなかった

はい
したい
……です

私の立場と責任
彼の役目と意義

相容れないと
それを理解しても

わたしはいまだ
この快楽から
抜け出せずにいる

もう 戻れない
かもしれない

しかしこりや
交尾するためだけに
あるような服だな

少し前まで
生娘だったとは
思えねえわ

とことんチンポに
くると
メス顔晒しやがって



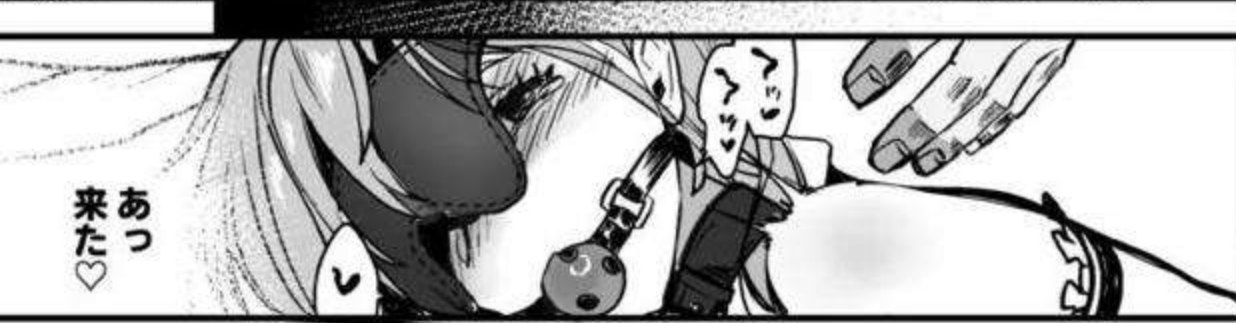
なあ
涼月



ああダメだ
喘ぎ声聴いてたら
たまらねえ……



ほら
マッサージ
してやるよ
演習続きで
凝ってるだろ



あつ
来た♡



相変わらず
発情したときの
舌使いやべえな

チンポとろけ
そうだ……♡

お前本当に
○○才かよ



もう何回
犯したか
分かんねえのに
全然飽きねえ

この喉マンコッ
使うたびに具合が
良くなりやがるッ
練度上げ
すぎだろ







逃げんなよっ

すっげえ声♡
チンポにクッ

本当最高だな
このデカ尻
肉オナホ……

ユルガバに
なるまで
使い込んで
やるからなあ



イクときは
ちゃんと見えよっ

イクッ

もつつ
イッてます!!

バコ

イグイグ
イグう!!
イキ死ぬう!!



射精るッ

俺も もう
……イクッ



あー……
チンポ搾られる

まだ射精るっ
イキマンコ
最高だわ……

ズリ

ズリ、ズリ



あ……だめ
ナカせんぶ
刺激されて

くそっ
締めすぎて
チンポ抜けねえ

トぶ
意識

飛



おーすげえ
量出たなあ♡

なんだよお前
また失神
してんのか

まんこから
射精してやがる
——
見てみる涼月



あーだめだ
エロすぎて
またチンポ
勃ってきた

射精し足りねえ！

伸びてる所
悪いガッ

勝手に穴
借りるぞ！



カ
ラ
ス
キ

iv





カラダ
ハート
スキ

iv





私情であるが

こうして生き延びた
君さえ手放して
しまうことが

心苦しく
悔しい……

提督？
お顔を上げて
ください

……ご命令
ですから

リハビリ
頑張りますね



すまない

上官が
こんな弱音を

三か月後



私の艦装——
どうでしょうか？



なあ考えを――



度重なる大破で
涼月としての
適性が落ちてる

今だって
姿勢制御すら
辛いはずだ

反対だね
俺は



ご心配いただけて
とてもうれしいです

しかし
私は軍の兵器

モノに
意思など
ありません



ですが
せめて最後に

思い出を
いただけませんか



限界突破もいいところだ

次まともに食らったら……

こんな状態で
南に出撃だって？



私は整備士と
男女の関係にある

誘ったのは私から

任務の合間
演習後……
休暇中……
何度彼の精を
注ぎ込まれたか
覚えていない



一年程前
密かな恋が
終わった日に
私は――

わたし
涼月の整備担当で
面識のあった彼に
はじめて
処女を差し出した

失恋からの
衝動だった



そして私は



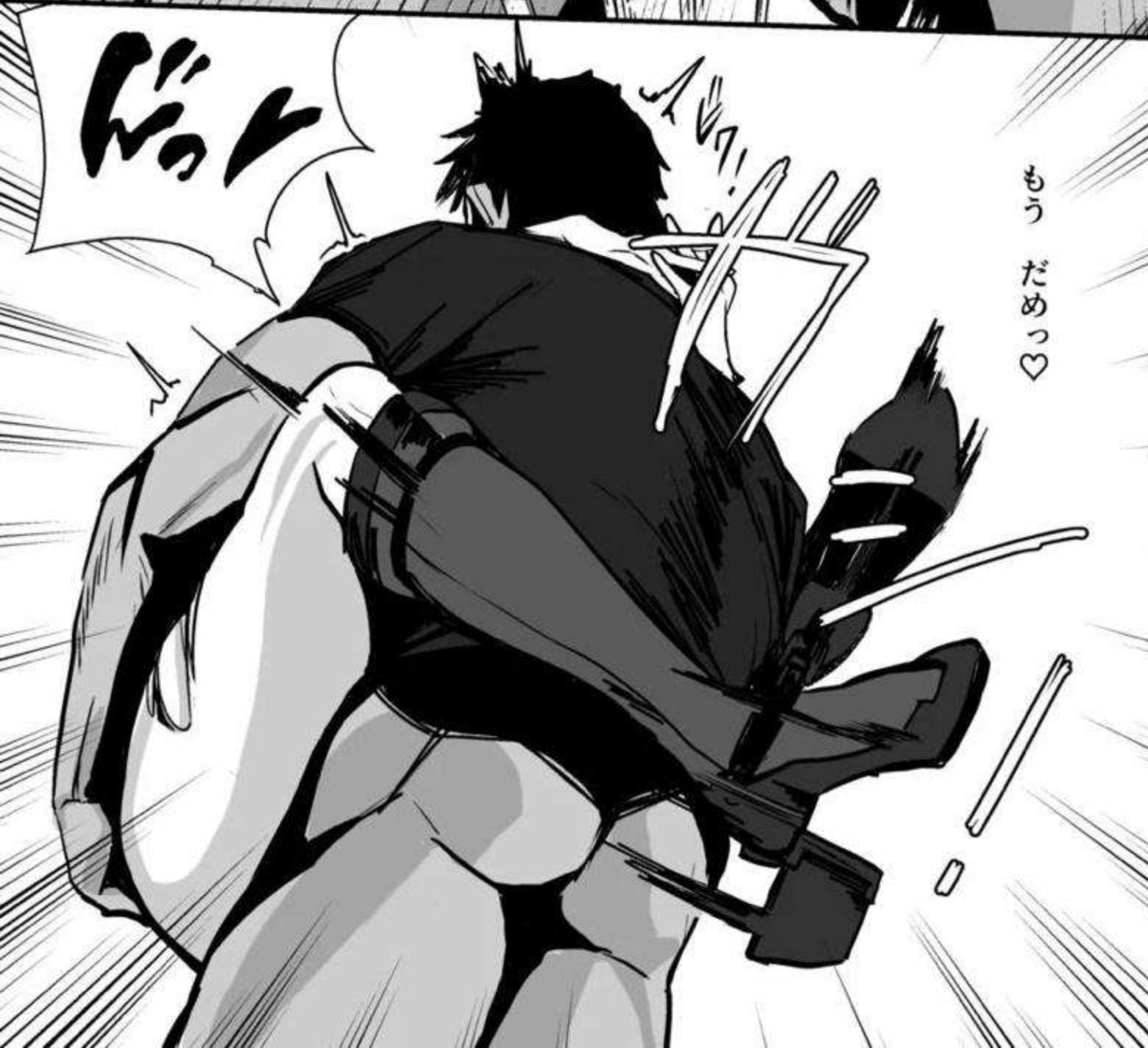
もともと
性的なことに
興味があった私は

それを皮切りに
淫欲を抑えられ
なくなっていた

とっぷりと
セックス
交尾にハマった









おいッ

むりっ

もうむりっ

むりっ

やべえ...
今までで一番

締まる...っ
うねりがっ あっ
搾り...取られる

ガマン
したぶん
すごすぎ♡



はーはー
見てください

あなたの規格外
おちんぽで一年間

好き勝手
ほじくり
まわされて
開発されて

気持ちいいが
続きすぎて
あ 足腰
たたないっ♡

涼月のおまんこ
ガバガバになって
しまいました……



責任取ってください

もうお嫁に
行けません……

あなたの
せいですよ？

私は
こうして何度も



誘ってきたのは
お前だろうが

下品な淫語でちんぽ
イラつかせやがって……

誘っては また
続けようとして



全部 搾り取られるッ……

玉中……

抜けねえ

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

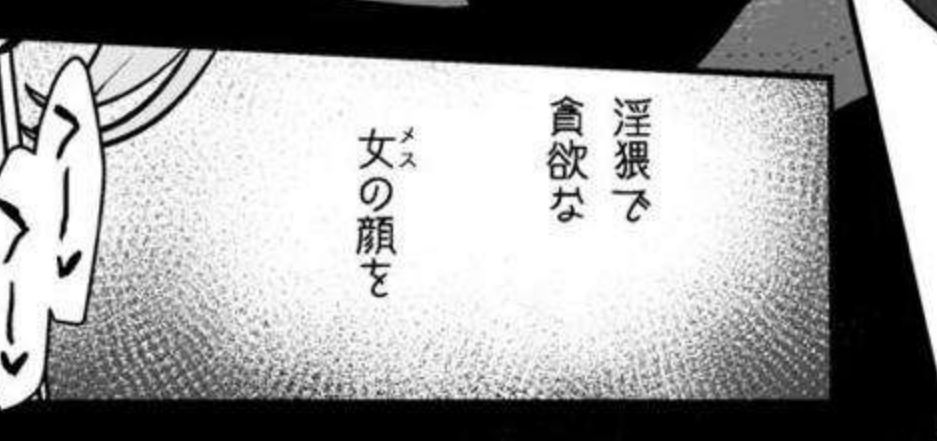


はーはーはー
……最高だったぜ
はー……

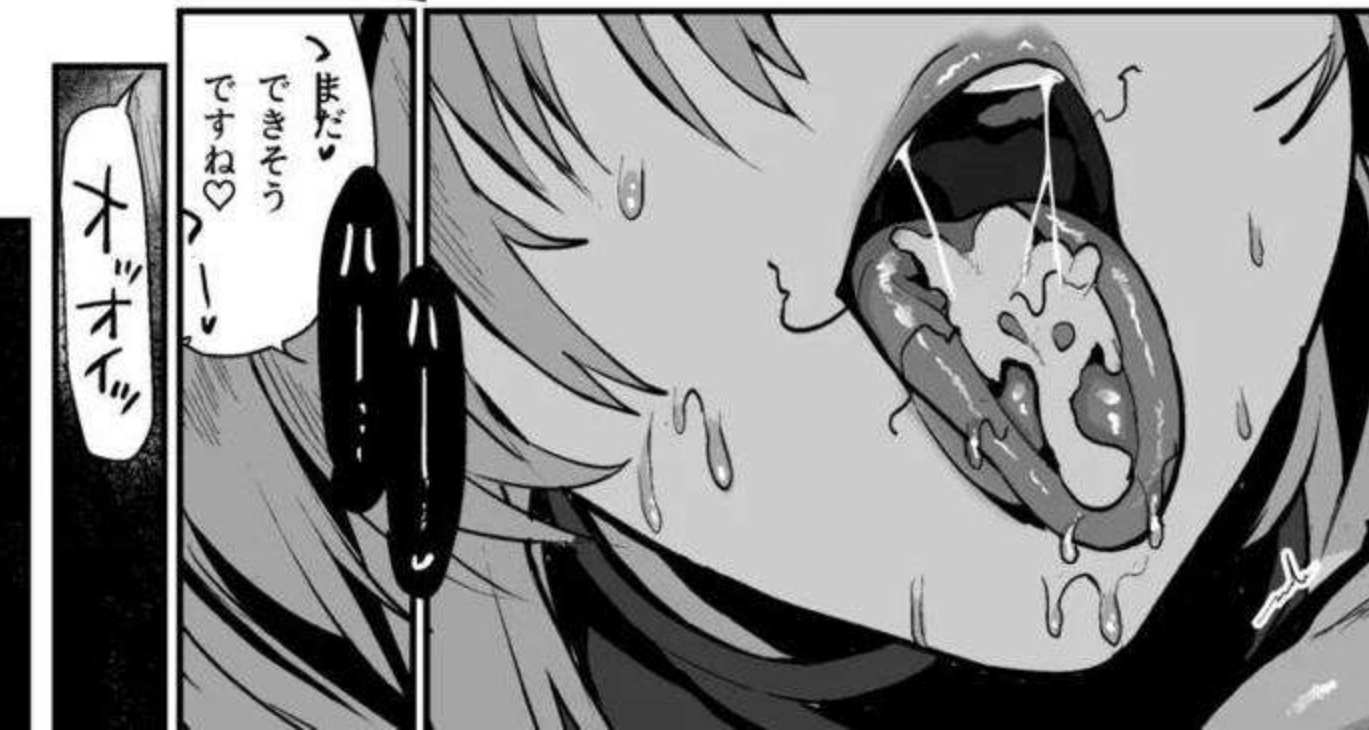
波のように
押し寄せる
快感と
幸福感の中で

この人になら
曝け出してもいいと
改めて思った……

私の隠した
もう一つの顔



淫狼で
貪欲な
女の顔を



はー
ヤッた
ヤッた

もうちんぽ
たたねえ……

わたしも
あそこが
ひりひり
します……

絞り取れるだけ
搾り取りやがって
しばらく
精子出ねえわ

あんたがこんなに
積極的だった
なんてな……驚いた

ごめんなさい

でもこれが
最後と思うと

もじ……

もじ

もじ
もじ……

女として 色々と
歯止めがきかなく
なってしまうって……

名残惜し
かったんです

今時期に南へ
つまり

水上特攻作戦 ですよ

だからわたし
せめて貴方の
思い出の中には
残りたくて……

自棄になるなよ

皆が命を棄てに
行った訳じゃない

それにあんたは
なんだかんだで
運がいい

きっと成し
遂げるだろうよ

だから――



待ってる



なんだよ
そんなに
目丸くして

い い えっ
そっですなっ
きつとまた
会えますよなっ

そうしたら
何しましやう!!
まずは――

ハハ
気が早いなおい
でもまあ まずは
メシにでも行こうぜ

ありがとうございます

涼月……
往ってきます



夢を見た

私の過去を
映した
古い夢を



束の間の追憶は
瞬く間に消えて…

入れ替わりで
現実がやってくる

ふ、あ、あ、あ、

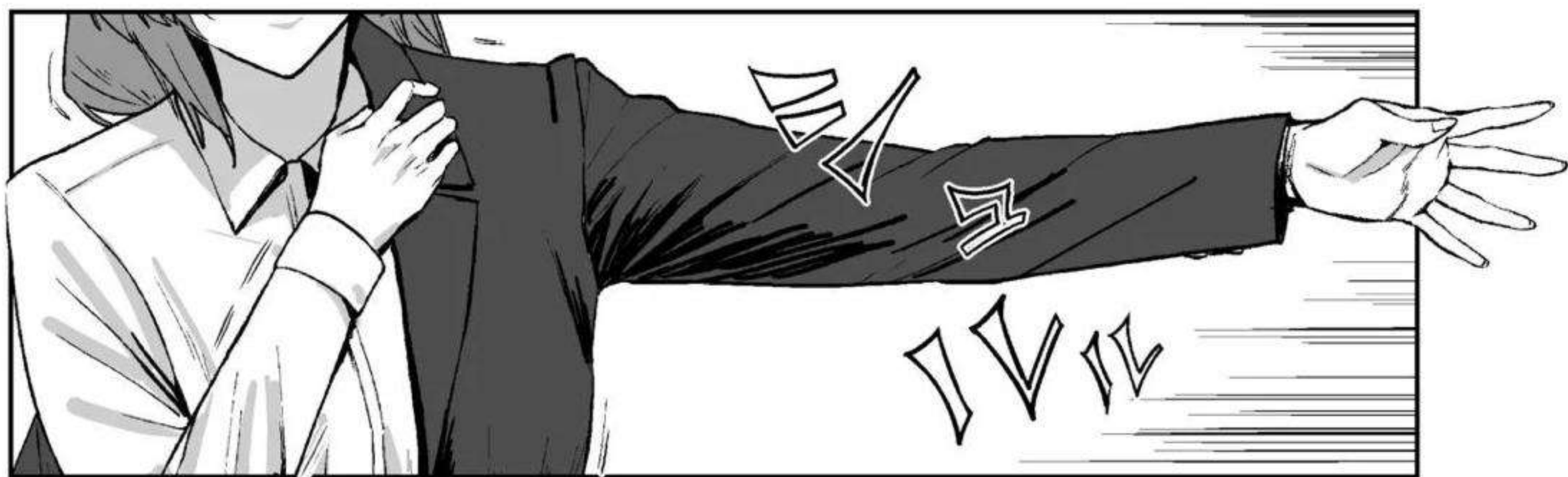
いけない……
寝ちゃったあ



そしてすぐに
全てを忘れて
しまうのだった









かつて私も
艦娘の
ひとりだった



もう
どこ？

不意に
郷愁に駆られ

気が付けば
それを探していた



あっ



忘れていた――

その事実を
薄れた追憶を

消えない様に
大事に抱いて

涼月

行ってきます

私は生きる



あとがき

この作品は2019年から2023年までに
コミックマーケット向けに発行した同人誌を、
作者の雪国裕が一部加筆修正・再編集したものです。

涼月について。

儚い風貌と声から私の弱い控えめな薄幸美人という印象をもち、
仲間内では一歩身を引いて後ろ側にいる、目立たない。
ゆえに安易に幸せは手に入らない、ちょっと可愛そうな
…そんな妄想を勝手に膨らませ描きました。

結末をどう転ばせようか迷っていましたが、概ね最初期の構想通りになりました。
生還し一般人に戻った涼月。
過去の記憶が薄れていく中で、
彼女が今後どのような出会い、はたまた再会を果たしていくのか。
おそらく小さいながらも幸せを手にできることでしょう。

読んでくださり、ありがとうございました。

発行者 雪国裕

編集日 2023年3月3日

本文の違法アップロードおよび使用を禁じます。